

2024年度 (公財) 北海道サッカー協会都道府県審判トレセン ユース3級審判員研修会② 参加報告書

日時 令和7年3月21日(金)～3月23日(日)
場所 伊達まなびの里サッカー場(伊達市)
参加者 各地区サッカー協会所属2～4級(U18)審判員 11名
(オホーツク2名:鈴木陽和・高久誠弘)
インストラクター (公財)北海道サッカー協会所属サッカー2級インストラクター
(平石暁史氏・靱山智哉氏・鈴木敏晴氏・岸本拓洋氏)
研修内容 講義:22日…全国大会参加者からの報告(吉村心・鈴木陽和)
23日…ポジショニングと動き
審判実技:22日・23日「プレシーズンマッチ伊達スプリングフェスタ(後期)」



■ 鈴木陽和

2年連続で参加させて頂きありがとうございました。私はこの1年間で沢山の経験を積ませて頂き、その中で学んだことを最大限表現しようと挑んだ研修会でした。全国研修の報告などもさせて頂いて、とても貴重な経験でした。また他地区のユース審判員と沢山交流して、さらに頑張ろうという気持ちになることができました。オホーツクに戻ってからも、トレーニングを頑張ろうと思います。

■ 高久 誠弘

今回初めてユース審判の研修会に参加させていただきました。研修会ではオホーツク地区ではなかなか経験できない同世代のユース審判との交流をすることができ、自分自身のレフェリングの課題や目標を見つけられた有意義な研修会となりました。また、全国大会に参加したユース審判員のお話を聞き、北海道トップレベルのユース審判員になるためにはたくさんの試合経験や競技規則の理解が必要だと思いました。地区に戻ったら今回の経験を活かして審判活動をより頑張りたいと思います。